

## 第 1 分科会グループ討議 第 5 グループ討議のまとめ

第 5 グループでは、以下の項目について討議しました。その結果をご報告いたします。

### ■LMS の導入や運用の共通した「課題や問題点」について

- ①利用率が低い…LMS を利用する教員と全く利用しない教員に分かれる
- ②利用が個人単位…学部・学科単位や全学的な利用への展開となり難しい
- ③目的や必要性が不明確…授業の“効率化”だけのツールとなっている

### ■課題や問題点の考えられる「原因」について

- ・利用目的や必要性が認識されていない。
- ・システムが陳腐化している。また、改修にも高額な費用がかかる。
- ・サポート体制が整備されておらず、教員の負担となっている。
- ・教員間の連携が不足している。
- ・学部や学科として活用の方向性が定まっていない。
- ・カリキュラム自体が体系化されていない。等

### ■LMS の「効果的な活用方法」について

- ・入学前教育から初年次教育に利用し、学生を見極める参考として有効であった。

### ■LMS の運用にあたって「組織的な課題」について

- ・教育目標を主軸としたシステムの運用。
- ・授業やカリキュラムへの活用にどのようにして組み込むか。
- ・普及を促進させる仕組みの確立。
- ・自主的な学修を支援する LMS への転換。

### ■私たち「職員にできること（すべきこと）」について

- ・自大学の分析および他大学の事例を情報収集し理論武装する。他大学の事例は、第 1 分科会のメーリングリストなどを活用し情報収集する。
- ・教員に LMS 活用の有益な事例（情報）を積極的に紹介する。
- ・学内のキーパーソンに対して LMS 活用の有利性について理解を促す。